

会 議 録

会議の名称	平成26年度飯塚市地域福祉推進協議会
開催日時	平成27年1月22日（木） 14:00～16:30
開催場所	飯塚市 立岩公民館 第2研修室
出席委員	14名（小賀委員、元田委員、田中委員、高石委員、野見山委員、重岡委員、松熊委員、岡本委員、水ノ江委員、西委員、渡邊委員、長谷部委員、西谷委員、千代原委員）
欠席委員	3名（平野委員、高岡委員、安永委員）
市職員	社会・障がい者福祉課長（森部）、同課長補佐（松延）、同社会福祉係長（松本）、同係員（大久保）、まちづくり推進課長（安永）、防災安全課 課長補佐（大庭）、高齢者支援課 課長補佐（松岡）、人権同和政策課 主査（上野）
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>・議題1 平成25年度行政の取り組み状況について ○事務局より、[資料1-1、1-2、4]を用いて説明</p> <p>(質疑応答及び意見交換)</p> <p>○行政の取り組みについて、それぞれの評価等が出ていますが、評価を受けて、第2期計画の取り組みをどの様に進めていくか織り込んであれば良かった。もう少し噛み砕いてその年度の評価をポイントで示す等、市民に理解してもらったものができたら良いと思った。</p> <p>⇒事務局といたしましても、具体的に体系に沿った形でまとめてみましたが、このまとめ方に併せて、もう少し総合的にみてどう捉えたのかのまとめも必要だったのかという思いもあります。総体的にみて頂いて、まとめ方に対してご指導をお願いいたします。</p> <p>○まちづくり協議会について、穂波としては、1つのまちづくり協議会だが、実際は5つに分かれて小学校単位になっている。このまま進めてもうまくいかないのではないかと。若菜に自主防災組織が作られているが、それをどれだけの若菜地区の住民が知っているのか。内閣府からの提言で、自主防災組織の中に男女共同参画推進の視点がある方を</p>

入れるということになっているが、その点はどうか。

⇒まちづくり協議会が12地区になったのは、共通の課題を抱える地域、地区公民館のエリア内で設置していこうという当初の計画があったと認識しております。現時点では、12地区ですが、将来的にどうするかは、今後の動きをみながら検討していきますので、今暫くお時間を頂きたいと思います。

⇒自主防災組織は、今、まちづくり協議会の各役員の皆さんにご理解頂いて、各役員が地域・自治会に持ち帰って頂きながら、最終的には自治会単位までの設立を進めているところです。その中で、内閣府からの提言については、自主防災組織の行動計画を策定する時に、一緒に考えて頂き、今は、第1段階を踏みだしたばかりですので、今暫くお時間を頂きたいところです。

○子育て支援センターによる育児相談について、相談件数の減少に対して相談しやすい環境づくりの設定が課題としてあがっているが、子育て支援センターは、すべての相談を相談件数として報告しているわけではなく、利用者人数は増加しており、相談しにくい環境ではない。また、家庭児童相談室について、障がいに関する相談は、社会・障がい者福祉課の窓口ではなく、子ども育成課の子どもなんでも相談室において対応する等、相談窓口に配慮して頂きたい。

⇒所管課と協議を行い、このような意見があったことを伝え、是正して参ります。

○自治会は色々なネットワークを構成している1つという位置づけなのか、それともネットワークを支えている基本組織として捉えるのか自治会の方向性についてお伺いしたい。

⇒自治会組織があつて、私たちの地域共同体は成り立っています。しかし、地域によっては、少子高齢化が進んで自治会組織だけではもたないところもあります。色々な考え方があるということをご理解頂きたいと思います。

⇒社会福祉協議会の立場としては、この地域福祉を考える時の根底の基盤は、自治会だと考えています。自治会の加入率が下がっているのは、承知しておりますが、自治会をどうするかという話は、また別の場で議論されるべきだと考えます。

・議題2、平成25年度地域の取り組み状況について

○事務局より、[資料2-1、2-2、4]を用いて説明

○まちづくり協議会は、あくまでも12地区でいくのか。12地区の協議会の方が集まる時、穂波のように5つに分かれているが、その方た

	<p>ちも一緒に集まるのか。</p> <p>⇒穂波地区は1つのまちづくり協議会であり、会議で招集して来て頂くのは、代表者、事務局長、副会長に声かけをさせて頂いています。会場で決められたことは、持ち帰って頂き、それぞれに下ろして頂くようお願いしています。</p> <p>○まちづくり推進課において審議会のようなものはあるのか。</p> <p>⇒審議会等はありません。まちづくり協議会は任意団体ですので、まちづくり推進課が、定期的に代表者会議や、協議会を支援する立場としてアドバイス等を差し上げているところです。</p> <p>【会長】行政としては、まちづくり協議会に対し、助言・支援はできますが、まちづくり協議会自身がどうしたいかが重要です。まちづくり協議会をどうするかは、協議会の方から主導的に、意見や組織の在り方を提示していくことが必要ではないでしょうか。</p> <p>・議題3、第2期地域福祉計画の周知・広報について</p> <p>○事務局より、[資料3]を用いて説明</p> <p>○チラシについて、あまりにもたくさんのことが書かれていて、わかりにくい。地域住民が対象であるため、もう少しわかりやすいものを工夫された方が良いでしょう。</p> <p>⇒言葉だけでは、伝わりにくいということで、各地域に出向き、説明しているところですが、工夫して改善に努めたい。</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飯塚市地域福祉推進協議会次第 ・【資料1-1】平成25年度行政の取り組み状況報告 ・【資料1-2】平成25年度 成果指標 ・【資料2-1】地域の取り組み報告について ・【資料2-2】平成25年度地域の取り組み状況報告 ・【資料3】計画の周知・広報状況 ・【資料4】事前質問に対する回答
<p>公開・非公開の別</p>	<p>1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 なし)</p>
<p>その他</p>	